

第41回 人間発達研究所 研究集会

発達保障の歩みを振り返り、  
これからを考える

# 発達保障の今日的意義

— 生成の土壌と、発達保障の提起から60年余の歴史を振り返り、  
今後の展望を現場の報告から考える —

歴史を学び、  
現場に学び、  
未来をともに  
考える一日

日時

2026年 7月5日(日)

対面 & オンライン (Zoom) 開催

会場

コラボしが21  
(大津市打出浜2-1)



発達保障の提起から60年以上。

その思想はどのような歴史の中で生まれ、  
どのように受け継がれてきたのでしょうか。

教育・福祉・保育の実践の歩みを振り返りながら、

現代の教育・福祉・保育の現場で見えてきた

新たな課題について考えます。

午前の部 9:30~12:00

講演①

玉村公二彦さん (京都女子大学)

「戦前から戦後にかけての教育・教育学と教育実践  
— 田村一二・池田太郎・糸賀一雄などを生んだ土壌」(仮)

講演②

荒木穂積さん (人間発達研究所副所長)

「田中昌人が『ミレニアム考』(2001)に  
込めた願いと21世紀前半期の課題  
— 発達保障の60年 —」

午後の部 13:00~15:30

指定発言

近藤真理子さん (太成学院大学)

「大学における  
『特別の教育的ニーズ』のある  
学生の現状と課題」



フロアからの発言と全体討議

申込方法

右のQRコードまたは  
下記URLよりお申し込みください。

申込締切 2026年7月2日(木)



ホームページへ

<https://j-ihd.com/kenyushukai2026.html>

お問い合わせ

人間発達研究所事務局  
520-0052 大津市朝日が丘1-4-39  
電話 077-524-9387  
メール j-ih63su@j-ihd.com

